

# 事業法人が 利用する

SWIFT



事業法人にとってのSWIFT利用のメリット



コンサルティング会社  
の見方: Syntesys  
社がROIを解説

page 4



事業法人の課題:  
BNP Paribasから  
見た見解

page 6

財務集中  
体制のニーズ  
の充足

EBAM  
ライブ稼働開始

page 7

Alcatel-Lucentの  
グローバルな財務  
フローの可視化への  
対応

page 3



アジアパシフィック  
地域での事業法人の  
SWIFT利用

page 8

## 企業取引の拡大に寄せて

全産業に影響を及ぼした金融危機からほぼ2年が経過しましたが、喜ばしいことに企業によるSWIFTの利用が急速に加速しています。

**金** 融産業全体の影響を受けて、2009年通年のSWIFTの取引件数は減少するという従来にない状況を迎えました。年後半にかけて再び成長基調に乗りましたが、通年の総計で見ると増加には転じませんでした。しかし、SWIFTを利用しようとする企業の数はいずれも増加し、企業と銀行の間での取引件数も増加を見せております。

参加企業の顔ぶれもより幅広くなっております。Alliance Liteの導入により、従来よりも小規模の企業が、システム的にも、コスト的にもSWIFTがより利用しやすくなったということから参加が増えました。地域的にも、アメリカで顕著な増加が見られ、特にシリコンバレーの企業であるeBayやCISCOなどの参加があったため、SWIFTに対する好意的な評価がハイテク・eビジネスの分野にも広がりました。

金融危機を引き金に、口座異動明細情報へのニーズが高まり、従来に増して資金の“見える化”に対する重要性が認識されました。ケーススタディとして、Syntesys (4ページ) やBNP Paribas (6ページ) の例が参考になるでしょう。これらの例では、最終残高だけではなく、日中の異動明細の情報を活用して、財務管理基盤との連動を行ったケースが紹介されています。

### 新たな試み

企業向けに、金融サービスプロバイダーとの取引を始める際の事務的な負担を軽減させる複数の試みが始まっています。特にElectronic Bank Account Management (EBAM) に対する期待が高まっており、弊社のCarlo Palmerが7ページでその概要を紹介しています。EBAMの進展は始まったばかりとはいえ、ISO標準としての登録も完了しており、関連した電子署名サービスも本年第3四半期に4銀行、9企業、7ベンダーを含めたパイロットが開始される予定です。



Elie Lasker,  
head of corporate market, SWIFT

**貿易取引・サプライチェーンの領域でも進捗が見られています。銀行と企業は貿易決済に関するデータの交換を標準化された仕様で単一のチャネルでやり取りすることが可能になりました。**

*Elie Lasker, head of corporate market, SWIFT*

また、貿易取引・サプライチェーンの領域でも進捗が見られています。銀行と企業は貿易決済に関するデータの交換を標準化された仕様で単一のチャネルでやり取りすることが可能になりました。貿易信用状、保証状、スタンドバイLCの領域で43種類の業務フローをサポートすることが可能になりました。この数は2008年12月の最初期のものに比べて2倍以上に増えています。

さらに、SWIFTは銀行が企業に対して提供する様々なサービスを可能にし、かつ既存の基盤の最適利用と全体のTCOの削減を可能とするコンサルティングサービスも用意しました。

3ページにはAlcatel-Lucentのケーススタディを紹介しています。Alcatel-LucentはSWIFT導入プロジェクトを行うことによって、様々な具体的なメリットを見出しています。このニュースレターをお読みになって、さらに情報を必要とされる場合、どうぞ[www.swiftcommunity.net/corporates](http://www.swiftcommunity.net/corporates)へアクセスしていただき、コメントをお寄せください。また、日本語でのご説明などが必要でしたら、[yoshimi@swift.com](mailto:yoshimi@swift.com)までご連絡ください。

*Elie Lasker, head of corporate market, SWIFT*

## 財務集中管理のニーズへの対応

SWIFTはAlcatel-Lucentがグローバルベースで複数の財務フローの管理をするお手伝いをしました。

1

30カ国以上の国々に77,000を超える従業員を持つAlcatel-Lucentは固定電話・携帯電話・ブロードバンドアクセス・エンタープライズIP技術と関連アプリケーションやサービスをグローバルに提供しています。2009年のグループ総売上は152億EURでした。

Alcatel-Lucentでは、グローバルに資金と流動性を管理するための集中体制を敷いており、各社の銀行取引をモニターし、各現地法人・子会社の市場調達、保証取引、資金調達、ヘッジ取引を集中的に管理しています。業容の拡大と組織の改組に対して、財務部門は以下の課題に対応する必要があります。

- ▶ 世界3地域のシェアドサービスセンターに対する最高品質の取引プロセスの導入
- ▶ 財務手順およびツールの標準化
- ▶ 既存の銀行とのチャンネル(通信手段)の合理化とコスト削減

### パートナー銀行

スタンダードチャータード銀行は永くAlcatel-Lucentの核となるパートナーであり、先進的な運転資金に関するソリューションをアジア・アフリカ・中東地域において提供してきました。Alcatel-Lucentはスタンダードチャータード銀行と取引を行うことにおいて、SWIFTを銀行とのコミュニケーションチャンネルとして選択しました。スタンダードチャータード銀行は、

Alcatel-Lucentの組織的体制に対応するように経験を有するチームを結成しました。それぞれの国におけるスタンダードチャータード銀行は対応するAlcatel-Lucentの業務ユニットと連携する一方、パリ本社との調整はシンガポールから管理されました。

既存の銀行との通信手段を変更し、最高品質の取引プロセスを採用することを決定したAlcatel-Lucentは、SWIFTの企業向けソリューションを選択しました。スタンダードチャータード銀行のトランザクションバンキング部門クライアントアクセスのグローバルな責任者であるNeal Livingston氏は「我々の顧客はますますSWIFTを利用する方向にあり、それによって、より高度な見える化と流動性の管理、運転資金のより効率的な管理を達成しようとしている」と語っています。

Alcatel-Lucentはプロジェクトに関する初期投資を極めて短期間に回収しています。スタンダードチャータード銀行はアジア・中東地域において、Alcatel-Lucentに対して真にグローバルで標準的なソリューションを提供することにより、極めて高度な見える化に貢献しました。

Alcatel-Lucentが得た具体的なメリットは以下の通りです。

- ▶ グローバルな資金の見える化: 日次およびオンデマンドベースでのグループ全体の資金の見える化によって、信頼できる投資判断が可能になりました。
- ▶ コスト削減:
  - 銀行チャンネルの合理化
  - 標準化
  - ERPシステム(SAP)と財務管理システムの完全な結合
- ▶ 生産性の向上: 一定数の財務スタッフで業務拡大に対応
- ▶ 単一の標準化された通信手段による銀行とのデータ交換

Alcatel-Lucentグループは現在85銀行とSWIFTを経由して通信を行っています。

MT940を利用して、全世界1,140の銀行口座の情報を集約し、MT101を利用して月

スタンダードチャータード銀行のトランザクションバンキング部門クライアントアクセスのグローバルな責任者であるNeal Livingston氏は「我々の顧客はますますSWIFTを利用する方向にあり、それによって、より高度な見える化と流動性の管理、運転資金のより効率的な管理を達成しようとしている」と語っています。



Neal Livingston, global head of client access, transaction banking, Standard Chartered Bank.

「銀行が利用している標準的なインターフェースとプロトコルを利用することにより、我々はERPと各パートナー銀行とを完全に統合することができた」

Xavier Hourseau, director, IS & Operation Group Treasury, Alcatel-Lucent

年間12,000もの大口決済を59の通貨にわたって完了しているほか、FileActを利用して小口決済をより合理的に銀行に指示しています。

Alcatel-Lucentの財務部門IS&Operation GroupのディレクターであるZavier Hourseau氏は「SWIFTのソリューションはキャッシュフロー、送金、流動性、取引先、各個別取引を一元化して把握したいというニーズを満足させた。銀行が利用している標準的なインターフェースとプロトコルを利用することにより、我々はERPと各パートナー銀行とを完全に統合することができた」と語っています。

#### 将来の可能性

このプロジェクトの成功に基づいて、Alcatel-Lucentは資金・財務管理を超えてさらに発展的な利用を検討しています。それは、貿易に関する信用状と保証状のプロセスをMT798を利用して行うというもので、これによりさらなる合理化を計画しています。また、銀行口座の管理合理化のために、EBAMのXMLメッセージの利用も視野に入れています。

このケーススタディに関するお問い合わせは、Mahesh.Narayan@sc.com (スタンダードチャータード銀行) にお願います。

#### SWIFTを利用するメリット

現代の不安定な金融局面において、資金の見える化、リスク分散、クレジットの確保、コストの削減はすべてのトレジャーが強い関心をもつ課題です。

複数の銀行取引をお持ちですか？売掛金の回収の集約や標準的手法の採用による自動化を求めているではありませんか？

従来の個別の銀行から受けるサービスから、SWIFTの利用に変更することによって、全ての取引銀行と高度に安全で標準化された方法で金融決済情報(送金、証券取引、口座情報)の交換が可能となります。SWIFTは国際的に認められた“標準”によって、企業のリスクとコストの削減および効率性の向上に貢献し、自動化や流動性管理の向上をもたらす、結果として規制の順守を容易にします。

これまでにSWIFTを採用した各企業のケーススタディを見ると、投資対効果は5年間で200%から400%を達成しています。SWIFTの利用により、重大なROIを提供し、ボトムラインに直接影響を与えることが可能になります。Alliance Liteのような低コストで簡単に接続できるソリューションを使えば、規模の大小を問わず、すべての企業がSWIFTに接続して活用できるようになります。

#### もたらされるメリット

- ▶ 複数銀行取引の見える化
- ▶ 金融取引のコストとリスクの削減
- ▶ 監査手順の効率化、法令順守の容易化
- ▶ STPの向上
- ▶ 資金と流動性管理の最適化
- ▶ 業務の合理化
- ▶ 業務継続性とセキュリティの向上
- ▶ 全世界への接続

## 実証されたROI

### Syntesys社によるSWIFTを利用した企業向けサービスの提供



企業向けサービスに関してSWIFTでは、コンサルティング会社が企業向けのビジネスアドバイスをする際の枠組みとして、

SWIFTReadyコンサルティングというプログラムを提供しています。これにより、SWIFTと認定コンサルティング会社が連携し、企業に対して協同でノウハウを提供することが可能になります。

Syntesys社は、OnFIN社およびCardinal Consulting社との合併により、2008年1月に設立された会社で、上記SWIFTReadyコンサルティングの認定を受け、中央ヨーロッパ地域でプロフェッショナルサービスを提供しています。以下はSyntesys社のCEOであるAdyl SayaghとSWIFTを利用している企業とのやり取りです。

#### SWIFTReadyコンサルティングの認定に関して最もチャレンジングな点は何でしたか？

大きく分けて2つのチャレンジがありました。一つは広範囲にわたる業務の見識をSWIFTから求められた点。もう一つはSWIFTが採用した認定に関する方法論でした。業務範囲に関して言えば、Syntesysは業務的な部分かIT的な部分かという点で、今まではどちらか一つであり、両方ということはありませんでした。しかし、今回の認定には企業の財務が持っている奥の深い業務ニーズと、SWIFTのセキュリティ、ネットワー

く、標準および企業が利用する財務管理システムといった、ITの分野の両方について深い見識が求められました。

次に、認定のプロセスに関してですが、これも大変でした。4時間にわたるロールプレイをSWIFTのセールス、マーケティング、パートナーという各エキスパートの面前で行うことが求められました。

**Syntesys社からみて、企業がSWIFTを利用するに当たって何が重要な課題でしょうか？**

金融危機の後遺症として、キャッシュは重要な問題です。以前にも増して、企業のトレジャーはグローバル規模で日中の資金をリアルタイムで見える化できることを求めています。これにより、ポジションが把握できることによって、流動性を最大化し、外部借入れを削減し、財務リスクを管理するだけでなく、潜在的な内部不正を防ぐことが可能になります。経験から言って、重要な財務活動にかかわる銀行とのチャンネルが高度に安全で、グローバルに標準化しており、信頼性が高く、拡張性を有しているというSWIFTのメリットが理解されれば、企業がSWIFTを採用するように説得することは非常に簡単なことだといえます。またSWIFTによって、ドメスティック、クロスボーダーといった取引や、大口の財務取引も小口の商業決済や貿易金融取引も可能であることも大きなポイントです。

SyntesysとしてはSWIFTへ移行することによって従来の方法から明示的にROIを提示することが重要なミッションとなります。時によって、我々は内部監査の部門が法令順守のために必要であると言う前に、財務部門に対してSWIFTの採用を強く勧めることもあります。

**個別企業に応じてどの程度Syntesys社はそのアプローチをカスタマイズしますか？また、SWIFTを利用するに適した企業のセグメント**

「使った分だけ費用を払うSWIFTのAlliance Liteはシンプルで即効性のある製品であり、国を問わずあらゆるサイズの企業に使いやすい価格でサービスを提供している」

*Adyl Sayagh, managing partner and CEO, Syntesys*



**を意識していますか？**

Syntesysでは、どの企業もそれぞれがユニークな存在であると認識していることを十分に尊重します。我々は“サービスを提供するに値する大きな規模の顧客と配慮に値する小さな規模の顧客”を顧客サービスのモットーにしています。したがって、アプローチをカスタマイズするだけでなく、それぞれの国・地域における状況にも対応します。たとえばフランスでは、Syntesysは従来のETEBACというレガシーネットワークからSWIFTNetへ移行するプロジェクトにおいて、メジャーな会社です。そこでは、SWIFTとBNP Paribas銀行、ドイツ銀行といったパートナーと協力し、フランスの企業に対して、ワンストップショップとして移行サービスを提供しています。

欧州ではSEPAが重要な要因になっており、我々のアプローチはここでもその固有のニーズに合わせて、SWIFTのAlliance IntegratorをISO20022準拠のために活用しています。

どのようなセグメントが適しているか？という質問ですが、もはやそのようなセグメントはないといっていでしょう。SWIFTを使っただけ払うというAlliance Liteは極めて安価なソリューションであり、どのようなサイズの企業にもフィットすると考えます。従来複雑であった価格体系も問題とはなりません。

**SWIFTを利用する企業のメリットをわかりやすく示すプロジェクト例はありますか？**

もちろんです。まず、グローバルなプロジェクトを紹介しましょう。現在我々は医療関係の最大手に対してプロジェクトを推進しています。SWIFTと我々が提供するSWAPSシステムをベースにSWIFTのサービスビューローを活用して、決済、口座管理などを全てSaaSベースで提供しています。この顧客はこのプロジェクトによって、明示的なメリットが享受でき、10以上の銀行固有のe-Bankingを廃止し、その会社のシェアドサービスセンターにおいて、20人の人員の削減が可能になります。

コストの削減や業務フローの複雑さを低減するだけではなく、SWIFTの利用によって、ソフト面でメリットも得られます。具体的には送金の状況の把握や、口座情報の管理、異例処理に対する合理化などです。さらに、Syntesysでは、銀行に対する情報提供依頼書 (RFI) の管理も提供しています。これによって、企業は銀行関係を見直して、従来にも増して総合的な銀行からのサービスをSWIFTを経由して得られるような例もあります。

2つ目の例としては、フランス国内の例を紹介したいと思います。LME (Laminés Marchands Européens)には、ETEBACを完全に代替するプロジェクトを提供しグルー

が利用しているSAPとの完全な連動を達成しました。

**Syntesys社では、企業がSWIFTを検討する際に利用できるビジネスケース作成用のテンプレートはありますか？**

確かに我々はSWIFT利用のためのビジネスケース作成用テンプレートを用意しました。これにより、既存レガシーの廃止とSWIFT採用による業務上のメリットの提示や人員の最適化などのメリットが明確に示されます。加えて、我々は企業のトレジャラーに協力して、運転資金の最適化による財務メリットを推定します。さらに、そのテンプレートは計量化できないメリットについても考慮できるように設計されています。それにより、コンプライアンスやセキュリティ、内部不正防止といった観点が反映されます。

**SWIFTを利用するという点で、どの市場が最も熱心だと思いますか？**

Syntesysはフランス、スイス、ドイツおよびオーストリアにおけるSWIFTのリージョナルパートナーです。これはもはや秘密でも何でもありませんが、フランスが最も進んでいると思われる。その理由は2つあり、一つは歴史的にフランスの銀行は企業がSWIFTを利用するイニシアティブに積極的であったこと。もう一つは全てのフランスの主要銀行が企業によるSWIFT利用をMACUGの枠組みですでに進めていたからです。SCOREはその後に出てきました。

次にフランステレコムがETEBAC廃止を発表したことも大きな要因です。これによって、多くのSWIFT加盟銀行はSWIFT経由での企業・銀行取引を提供するようになりました。

## 企業の課題に対する銀行の見方

### BNP Paribasは企業向けSWIFT活用のパイオニア。市場環境におけるチャレンジとは何であったか？

**B**NP Paribasは長くSWIFTNetのメリットが潜在的に企業向けに適していると考えていた。結果として、

「キャッシュマネジメント業務から“企業向けSWIFT”を提供することを決定した。」「事業法人担当と彼らが持つ銀行・企業間のチャンネルプロダクトに関して、直接責任を持たせるようにした」BNP ParibasのチャンネルプロダクトのヘッドであるMarie-Laurence Faure女史はそう述べている。従来銀行間の通信手段として使われてきたSWIFTを、一般的な企業向けチャンネルとして位置づけた。「この位置づけによって、適確な付加価値を提供できるようになったほか、SWIFT自身が我々の企業顧客に対する特定のニーズを理解させることができた」とFaure女史。

時間の経過とともに、SWIFTのメリットを利用したいという企業の範囲は拡大している。「当初はグローバルにマルチバンクの関係を管理するために巨大企業が最も興味を持っていた。これらの企業は資金管理の情報フローを改善するだけでなく、貿易、証券取引、為替取引なども同時に管理する意向を持っていた。多国籍企業にとって、

SWIFTのような複数のビジネスラインを世界中で管理できるツールは非常に重要だ」と女史は語る。

SWIFTNetを企業が利用する場合、いくつかの段階を経ている。「最初のステップはトレジャリーカウンターパーティとして銀行とMT300などを取り交わすことから始まった。次にFINの範囲の中で、資金の移動や、口座異動明細の取得という形で発展し、さらに買掛金の決済や売掛金の資金回収 (Direct Debit) のようなバルク取引をFileActで行うなど、企業の資金管理に関してSWIFTNetをフル活用する傾向にある」と女史。

まず、資金管理のニーズに適していることが確認されると、企業は証券取引や貿易などの業務分野にも興味を持つようになった。「資金管理のためのSWIFTはもはや確立された方法である。証券取引については、この分野では新しい試みと見られているであろう。貿易分野については、我々はよりパイオニア的な状態である」と女史は語る。

### 中堅企業へのアプローチ

当初はSWIFTNetはやや複雑で高くつくものであることからFaure女史は中堅企業には必ずしも適したものではないとと考えていた。しかし、サービスビューローからの接続設備の提供やAlliance Liteの登場により、「中堅企業はSWIFTにとっての魅力的なターゲットになってきた」と女史は語る。中堅企業にとってのSWIFTの利用方法は国内利用か国をまたがった利用かによって、異なっている。

「SWIFTは国をまたがった分野については、間違いなく、よいソリューションである。国内取引のみを考えたときに中堅企業が利用することは、その国のカルチャーにもよる」と語る。

BNP Paribasでは、中堅企業向けの特別なパッケージをフランス市場向けに用意しており、サービスビューローやメンバーコンセントレーターといった組み合わせからなっている。

BNP Paribasは新たなSWIFTNetのソリューションの提供についても検討をしている。「我々は電子的な口座管理のソリューションであるeBAMにもパイロット参

加している。それに伴った電子署名のための証明書管理のパイロットも今度行う予定だ」とFaure女史は語っている。

### Cash Management University

過去4年間、BNP Paribasでは毎年Cash Management Universityを開催している。これは2日間に亘るイベントであり、SWIFTを含めた複数の業界参加者とのパートナーシップによって実施されている。「このアイデアはいくつかの企業が日々どのような業務を行っているかを議論する中から生まれた。複数の基調講演やワークショップから構成されており、今後のニーズの発掘などに活用している。このUniversityは対話から成り立っており、いわゆるセールス的なものではまったくない。昨年は19カ国から100社の参加者が集まった。第4回はパリで11月25日、26日に行われる予定であり、企業にとって、他社がどのような取り組みをしているかを知るのに非常によい機会だろう」と女史は結んでいる。

多国籍企業にとって、複数の銀行とグローバルに取引をする場合にSWIFTのようなサービスは極めて重要である。

Marie-Laurence Faure,  
BNP Paribas



### EBAMはライブに!

ISOに準拠したスタンダードに基づいた電子的口座管理のサービス

**決** 済プロセスでは広範囲で自動化がなされていると言えるが、銀行口座の管理については、まだなお手作業による部分がほとんどである。

「誰もが、ここは問題であるという認識である」とSWIFTのCorporate Market SolutionのCarlo Palmersは言う。

「変化が必要であるということだ。コミュニティからの意見に対応してSWIFTではEBAM (Electronic Bank Account Management)の標準を開発した。これにより、次の4つのキーになる分野をサポートすることができる。つまり口座開設・閉鎖・維持・報告である。セキュリティの高いFileActのサービスを応用して、15のXMLのメッセージから成り立っている」とPalmerは語る。

「口座開設は既存の企業顧客が新しい口座を開く際に利用される。現地の規制にもよるが、ほとんどの手続きが電子化される。国によっては、証明書などのコピーの提示がなお必要な場合もあるが、電子的に手続きを行うことができる。閉鎖に関しては、単純と見られるかもしれないが、残った残高をどう処理するかなどの要素も含まれている」

「維持関係については、それほど多くの電文が取り交わされることはないのではないか」

「一方で口座の権限に関する変更については多数の取引が行われると思われる。これらは署名者がどのような権限を持つか、どの署名者との組み合わせでより高い金額の権限を可能にするか、どのような取引に対して有効な署名であるか、などが電子的に処理されることが可能になる」とPalmer。

より詳細については、[carlo.palmer@swift.com](mailto:carlo.palmer@swift.com)にお問い合わせください。

## アジア太平洋地域における企業向けSWIFTのセミナー

SWIFTではIACCT(International Association of Corporate Treasurers) と共催で、アジア地域で10回にわたるセミナーを実施しています。



このセミナーは、企業トレジャラーの優先度合いの高いニーズについて解説する招待制のもので、財務業務のベストプラクティスを推進するとともに、より革新的な方法を通じて企業トレジャラーの効率性向上を目的としています。

「セミナーを通じて、SWIFTがターゲットとする顧客が、いかにして技術革新を果たしトレジャリービジネスに影響を与えるか、SWIFTのソリューションが流動性管理の向上に寄与するか、を共有することができます」とSWIFTのCaroline Lacoqueは述べています。

最初のイベントは香港でHSBCとSunGardの協力を得て1月27日に開始されました。そのイベントにはLi & Fung、Kardine Matheson、MTR Corporationを含む28社のトレジャラーが参加しました。

より詳細は[www.swift.com/corporate](http://www.swift.com/corporate)をご覧ください。

### IACCTについて

IACCTはトレジャリーに関するベストプラクティスを推進し、革新的なアイデアを通じて企業の財務部門の効率性を高めるための団体で、香港と中国で活発な活動を行っています。http://www.iacctchina.com

### 新しいプロダクトのご提供

Common Global Implementationの導入ガイドが公表されました。(pain.001 およびpain.002の利用)

**顧客**送金と決済状況レポートに関するCommon Global Implementationの導入ガイド Version 3が公表されました。

このガイドは実際に利用を行う際の指針となるもので、グローバル企業が複数の銀行、複数の決済手段、複数の国を対象にして行う決済指示の統一的な方法を目指すものです。

一般的なメッセージ構造の解説に加えて、個別取引に関して、受付銀行が成功裏に処理できるためのガイドとして準備されており、[www.swiftcommunity.net/CGI](http://www.swiftcommunity.net/CGI)にて詳細な情報が公表されています。

ご意見などがあれば、ぜひ[www.swiftcommunity.net/CGI](http://www.swiftcommunity.net/CGI)のBlogにお寄せください。

より詳細については、[marc.gheyskens@swift.com](mailto:marc.gheyskens@swift.com)にご連絡願います。